

# 第3学年1組 社会科学学習指導案

平成29年6月28日(水) 第3時 3年1組教室

## 1 単元(題材) 「第二次世界大戦と日本」 (8時間完了 本時7/9)

### (1) 単元(題材) 目標

- ① 世界中に惨禍を及ぼした第二次世界大戦について、二度と同じ過ちを繰り返してはいけないという思いをもち、戦時中の国民の生活について意欲的に調べることができる。 【関心・意欲・態度】
- ② 第二次世界大戦のころの日本国民の戦争に対する認識について考える中で、戦争を止めることができなかつた理由を調べ、他者に伝えることができる。 【思考・判断・表現】
- ③ 第二次世界大戦に関する史料から、当時の国民の生活の変化や戦争に対する思いを読み取り、自らの意見の根拠とすることができる。 【資料活用】
- ④ 第二次世界大戦による国際的な歴史の流れと日本政府の政策、そして戦時体制により変化した国民の生活について理解することができる。 【知識・理解】

### (2) 単元(題材) 構想

「修学旅行のクラス別研修はどうしますか」学級委員が尋ねると、それぞれの班が意見を出した。しかし、それらの意見をまとめることができず、修学旅行のクラス別研修を決めるのに多くの時間を費やすこととなった。

本学級の生徒は、行事や授業に対して熱心に取り組む姿が見られている。調べ学習をしたりグループで相談をしたりすると、それぞれの意見を主張することはできている。しかし、他者の考えを受け入れたり、自らの考えたことを見直したりすることが苦手である。相手の立場に立って考え、全体でよりよい意見にしていこうとする意識が不足している。社会科の授業においても、基本的な用語を尋ねると多くの挙手が見られるものの、「なぜ当時の人々はその行動をとったのか」などその時代の人々の生き方や行動の理由を考えようとする質問に対しては挙手が見られない。

そのため、生徒たちが物事を多面的にとらえ、自分と異なる意見や考え方を受け入れながら自らの考えを見つめ直し、追究していこうとする姿を期待する。異なる文化、異なる時代を生きた人々へも切実感を高めながら思いを巡らせ、様々な視点で社会的事象をとらえることのできる力を育てたい。

今から76年前、日本はハワイの真珠湾を奇襲攻撃し、多くの犠牲者を出した太平洋戦争を開始した。この悲惨な戦争は、当時の人々を苦しめ続けていた。正しい情報を知らされず勝つことを信じて耐え忍んでいた当時の国民の生活は、今の社会に生きる生徒たちの想像を越えるものであったに違いない。日用品は切符制で制限され、食料は限界の状態が続いていた。子どもたちは親元を離れ疎開し、小さい頃から訓練を受け、女性は工場で武器を製造する毎日を送っていた。政府は、国家総動員法ですべてを戦争のために使い、大学生も戦場へ送る学徒出陣も行った。言論を統制して国民の戦意高揚も図られていた。国際的にも植民地を広げようと様々な国と戦い、他国の国民を苦しめていたという記録も残されている。太平洋戦争は、様々な視点からとらえる必要があり、それらを重ね合わせることで少しずつ当時の様子が明らかとなってくる。生徒たちには、当時の国民が戦争をどのように考えていたのかを、「国民の生活」「政府の政策」「国際関係」という視点から追究し、戦争について自らの考えを深める機会としたい。

本単元では、第二次世界大戦がヨーロッパで始められてから、太平洋戦争の開戦に至るまでの通史を全体で確認する。その後、生徒たちがより具体的に戦争の悲惨さについて考えられるよう、「当時の国民はどのように感じていたのか」について考える時間を設定する。これまでの出来事や既習内容から生徒たちは、当時の国民が戦争をどのように考えていたのかを予想する。意見を出し終えた後、生徒の考えを「国民の生活」「政府の政策」「国際関係」に分類し、追究の視点を焦点化する。生徒たちは、予想で考えた自らの意見に明確な根拠をもたせるべく、意欲を高めながら追究をしていくであろう。生徒たちが追究活動を行い、明確な根拠をもつことができたところで、2回目の話し合いを行う。そして、小さな子どもたちが疎開をしていたことや訓練を受けていたこと、食糧難で苦しい生活を送っていたこ

と、政府が国民の協力を得るために戦時体制を強化させていったこと、明らかな戦力差があったにもかかわらず戦争が行われたことなどの根拠をもとに、国民が戦争に賛成していたのかを考えさせたい。意見が出そろったところで、苦しい状況が続いていたにもかかわらず「なぜ、国民は戦争を止めることができなかったのか」を考え、戦争に対して国民は自らの感情を表に出すことができず、耐えるしかなかったという状況や、政府が意図的に情報を操作していたことについて考えさせたい。

本単元を通して、二度と戦争を繰り返さないためには、「国民に正しい情報が伝えられ、平和的な解決方法を考え国民の意見が反映させられる社会を築いていくこと」であると考える生徒たちの姿を期待する。

### (3) 単元(題材)計画

学 習 課 題	学 習 内 容	時 間
「第二次世界大戦はどのように始まったのだろう」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドイツのポーランド侵攻</li> <li>・第二次世界大戦の様子</li> </ul>	1
「太平洋戦争の開戦に対して当時の国民はどのように感じていたのだろうか」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の東南アジアへの進出</li> <li>・真珠湾への奇襲攻撃</li> <li>・太平洋戦争の開始</li> </ul> (発問)「当時の日本国民は戦争に賛成していたのだろうか」	2
「戦争に対する当時の国民の考えを調べよう」	<b>【個人追究】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当時の国民は戦争にどのような考えをもっていたのかを調べる</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">           国民の生活の様子からの追究            政府の政策から追究            国際的なできごとからの追究         </div>	3
「当時の国民は戦争に賛成だったのだろうか」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調べた内容の発表</li> <li>・なぜ国民は戦争をとめることができなかったのか</li> </ul>	1 (本時 1/1)
「戦争を止められなかった結果、各国ではどのようなことが起こったのだろうか」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドイツ、イタリアの降伏</li> <li>・広島、長崎への原子爆弾の投下</li> <li>・沖縄への上陸</li> <li>・日本の無条件降伏(ポツダム宣言)</li> </ul>	2

## 2 本時の学習指導

### (1) 本時の目標

- ・第二次世界大戦中の戦時体制下における国民の戦争への考えを出し合い、国民が戦争を止めることができなかった理由について考えることができる。(思考・判断・表現)

### (2) 展 開 (目標達成の視点—ゴシック体太文字・下線)

段階	生 徒 の 活 動	教 師 の 活 動
導入 3	1 当時の子どもたちの様子を見て、どのような場面か考える。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・戦争に勝った場面かな。</li> <li>・おめでたいことがあったのかな。</li> <li>・うれしそうな顔をしているよ。</li> <li>・戦争で誰かが死んでしまったのかな。</li> </ul> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国民の生活の様子がわかる資料を提示(発問)「これらの写真はどのような場面か考えてみよう」</li> <li>・資料から予想してわかることを発表するように伝える</li> </ul>
課題 2	2 本時の学習課題を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 10px;"> <b>当時の国民は戦争に賛成だったのだろうか</b> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習課題を板書する。</li> </ul>

<p>究明 18</p>	<p>3 <b>戦争に対して国民はどのように考えていたのかを話し合う。</b></p> <p><b>【生活】</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・配給制、切符制などで制限されており、苦しい生活が続いていたため、不満をもっていた。</li> <li>・小さい頃から訓練を行っており、子どもたちは遊ぶ時間も働かされていたので、嫌だったと思う。</li> <li>・パレードをしていたと書いてあったので、戦争に行くことを前向きにとらえていた人もいると思う。</li> </ul> </p> <p><b>【政府】</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・マスコミの報道を検閲し、言論の統制を行っていたため、国民は勝てると思っていた。</li> <li>・正しい戦死者の数も報告されていなかった。国民は我慢をすれば、すぐに戦争が終わると思っていた。</li> <li>・国家総動員法で全てを戦争に捧げないといけないから苦しんでいた。</li> </ul> </p> <p><b>【国際関係】</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・アメリカとの戦力差は非常に大きかった。国民はその中でも勝てると思っていた。</li> <li>・ABCD 包囲陣で石油が禁止されていたため、開戦はしかたがないと考えていた。</li> <li>・ミッドウェー海戦では事実とは異なる情報が新聞に載っていた。国民は、それを信じていい調子だと感じていた。</li> </ul> </p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(発問)「当時の日本国民は戦争に対して、どのように考えていたのだろう」</li> <li>・前時までの調べた内容を確認するように指示する。</li> <li>・どの視点からでも自由に発表するように伝え視点を明確にしながら板書をする。</li> <li>・<b>同様の視点から異なる考えの意見が出てきたときは、線で結び様々などらえがあることを明確にする。</b></li> <li>・話し合いの流れから出してほしい意見があるときは意図的に指名する。</li> <li>・意見が止まった場合は、調べたことを再確認するよう伝える。</li> <li>・国民が苦しい生活をしてきたことや不満をもっていたという意見を拾い上げる。</li> <li>・史実をもとに根拠を明確にできた生徒を称賛する。</li> </ul>
<p>解決 22</p>	<p>4 <b>国民は戦争を止めることができなかったのかについて考える</b></p> <p>・国民は、政府から正しい情報が得られず、戦争を続けることが正しいと考えていた。          ・戦争に反対するようなことを言うことができない世の中であったから。          ・戦争に協力しなければ非国民と言われ、強制的に戦争に向かわされていたから。          ・法律も整えられ、国民の自由はなかったから。          ・当時は戦争が中心であり、平和的な解決をしようとする人がいなかった。</p>	<p>(発問)「苦しい生活が続けていたのになぜ国民は戦争を止めることができなかったのだろう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>これまで生徒が出した意見を参考に考えられるよう、板書を見て自分の考えをノートに書く時間を確保する。</b></li> <li>・机間指導を行い、朱書きを加えながら生徒の考えを支え、把握できるようにする。</li> <li>・意見を書き終えたところで4人グループを作り、小グループで確認する時間を確保する。</li> <li>・「正しい情報の大切さ」「平和的解決」など全体に広めたい考えに対しては、意図的に指名を行う。</li> <li>・当時の様子から戦争を避けられなかった国民の様子を発表できた生徒を称賛する。</li> </ul>
<p>整理 5</p>	<p>5 本時の内容を振り返り、戦争に対する自分の考えをまとめる。</p> <p>・戦争をいろいろな視点から考えることができ良かった。このように多くの犠牲者を出す戦争は二度としてはいけないと思った。          ・これまではなんとも思っていなかったけど、自由に自分の考えを言うことができる現代は本当に幸せだと思う。国民の意思が第一になる国にこれからもしていきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の内容を受けて、当時の国民の様子から戦争に対する自分の考えをまとめる。</li> <li>・自らの生活と関わらせてまとめることができた生徒を意図的に指名する。</li> </ul>

**(3) 評価**

- ・他者の意見を取り入れながら当時の国民のおかれていた状況について理解し、戦争を止められなかった要因について考えることができたか。

(思考・判断・表現) ————— 活動4の様子、発表から